

**塾長からのメッセージ!** 君の道を君の力で切り開け!  
君の努力は決して君を裏切らない!!

## 人にも形もねばならない時がある!

二月は耐える月です。寒く凍つくような日々は、どこまでも続くわけではありませんが、球根が芽を出し、大きな花を咲かせるために冬の長く寒い日々が必要のように、人には耐えぬまじむらぬ時があります。

君が今、辛く居苦しい日々を過ごしている時、君に必要なことは、そんな日々から逃げ出すことではなく、誠実に懸命にそんな日々と戦い続けることです。



誰の助けもなく、君が君の人生をより良く生きるために君は、君自身と戦うのです。毎年受験の季節にむかえ、試験という言葉を出すと、受験は君を確実に強く鍛えます。志望校に合格することだけが、受験の価値ではありません。受験という一つの試験の中で苦しめられた君には、強くたくましく生きる力が必ず身につくはずです。

ガンバレ受験生!  
君の春は近い!!

## あこがれが生きる力になる!!

憧れの人、憧れの学校、憧れの職業、憧れの気持ちが君を育てる!

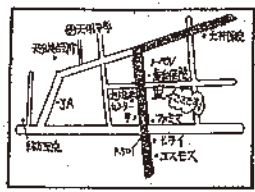
憧れが生きる力になる時...

**あんな人になりたい!**  
憧れる人がいれば、豊かに人に優しい心を持ち続けられる。

**あんな学校に入りたい!**  
憧れの学校があれば、憧れを実現するために考え努力する。

**あんな職業に就きたい!**  
憧れの職業があれば、苦しくても耐え理想を見失わない。

あなたは 何に憧れの気持ちを持っていますか?  
当教室は あなたの憧れを全力で応援します。



熊本市南区鏡塘町2136-8

# 日進塾

096(223)3151

HP <http://www.nissin-juku.com/>

# 雑草という名の草はない!

スマホもパソコンもない時代に

本気で日本の全植物を研究分類しようと取り組んだ人

**「日本の植物学の父」牧野富太郎**

私は自分の学問に対してあまり苦労したことはなかった。今日まで何十年にわたる長い年月の間実に愉快地学問を続けてきてついに今日に及んだのであるが、平素その学問を特に勉強したようにも感じていないのは不思議である。これは結局生まれつき植物が好きであったため、その学問があえて私に苦痛を与えなかったのだから。「若き日の思い出」より

何といっても植物は採集するほど、いろいろな種類を覚えるので、植物の分類をやる人々は、せめても各地を歩きまわらねばウソである。家にたてこもっている人ではとてもこの学問はでき、こない。日に照らされ、風に吹かれ、雨に濡れそんな苦業を積んで初めていろいろの植物を覚えるのである。「若き日の思い出」より

私は一日もその学問から離れたことはなく次から次へと楽しく勉強を積んだわけだ。私はどうも生苦くもなく愉快地研究を続けて来た人間は世間にはかなり少ないようだ。それゆえ私は少年の時と今日老年になった時と、その学問のぐあいは少しも違っていない。ただ一貫して学問の道を脇目もふらず通ってきたのである。「若き日の思い出」より

**牧野富太郎が命名した植物**  
命名は2,500種以上(新種1,000、新変種1,500)とされる。また自らの新種発見も600種余りとされる。明治22(1889)年土佐で発見した新種「ヤマトクサ」に日本で初めて学名をつけて「植物学雑誌」に発表。これこそが日本人が外国の学者に依存せず自らの手で学名をつけることができた記念すべき瞬間!

**植物学者 牧野富太郎博士 (1862-1957)**  
高知県高岡郡佐川町出身。幼少から植物に興味を持ち、独学で植物の知識を身につけた。「日本の植物学の父」といわれ多数の新種を発見し命名も行った近代植物分類学の権威。  
2023年春放送のNHK朝ドラ「らんまん」のモデル

